

日本社会文学会2023年度秋季大会

開会挨拶 亀田博(大会実行委員長) 10:00より
研究発表 10:05~12:00

李在昶(東京大学院生)
中野重治の小説創作の方法論と天皇(制)——「五句の酒」を中心に

杉山雄大(二松学舎大学非常勤講師)
大西巨人「俗情との結託」再考——同時期の小説・批評との関係から

魏韻典(東京大学院生)
見えざる傷に触れる試み——津島佑子「ヤマネコ・ドーム」論

講演 13:00~14:00

井口時男(文芸評論家)
大震災から——「新興」する俳句と文学

閉会挨拶 佐藤泉(日本社会文学会代表理事)

大会終了後、鎌倉文学散歩(人数限定、鎌倉駅を中心とした徒歩圏内)
案内人:亀田博 ※詳細は学会HPをご覧ください

11月4日(土)
10:00開会 対面のみ
会場 鎌倉商工会議所ホール
JR鎌倉駅西口より「市役所通り」直進徒歩5分

と鎌倉100年

要参加申込み

会員・非会員を問わず参加できます。
会場の都合上、なるべく10月30日(月)までに事前登録をお願いします。名前のQRコード、あるいは日本社会文学会ホームページ上で登録予定の事前登録フォームより、ご登録ください。

主催 日本社会文学会
e-mail: shakaibungaku@gmail.com

関東大震災100年

2023年度秋季鎌倉大会概要

日時 11月4日(土)

会場 鎌倉商工会議所(神奈川県鎌倉市) ホール

アクセス JR鎌倉駅西口より徒歩5分

*対面のみ(事前登録をお願いします。)

テーマ 関東大震災100年と鎌倉

《開会の辞》10時~ 亀田博(大会実行委員長)

《研究発表》10時5分~12時

《講演》13時~14時 井口時男(文芸評論家)

《閉会の辞》佐藤泉(日本社会文学会代表理事)

日本社会文学会設立趣意書

日本における近代文学研究は、戦後において大いに盛んになり、さまざまな年代、さまざまな領域に光があてられ、民権運動期から戦後まで、社会文学の潮流あるいはその作家や作品についても、郷土史・民衆史・地域史などの研究とあいまって戦前と比べられないほどの規模と細やかさで研究が進んでいます。しかし、残念なことにそれについての研究が、そして研究者もバラバラで、十分に必要の情報交換あるいは共同研究の場所を持つことができないのが現状です。加えて、戦前のプロレタリア文学関係者のみならず、戦後における民主主義文学・社会主義文学などの関係者のなかからも物故する人が相次ぎ、資料の保存や聞き書きなど、計画された共同調査の必要にも迫られています。

他方、現代日本文学の趨勢を見ると、「内向への道」はやがて「空虚」あるいは「空無」に傾き、一つの大きな危機を迎えています。これはどう考えてみても一つには「社会」を視野に収めなかったというより、むしろそれに目を背けてきた結果ではないかと思えます。

今、社会問題といっても、単に労働問題や婦人問題や部落差別問題があるだけではありません。環境あるいは公害問題、教育問題や戦争と平和の問題など、さまざまな問題が新たにクローズ・アップされています。そういう意味で日本の近現代文学が「社会」をどう描きだしてきたかについての共同討議あるいは共同研究の場所として一つの新しい学会をおこすことの必要を私達は痛感し、ここに本年5月を期して日本社会文学会を設立したいと思います。

ぜひ趣意を諒とされて御参加ください。

1985年4月

◎大会終了後、鎌倉文学散歩 文学散歩のご案内

関東大震災で鎌倉も大きな被災を受けた。震災時、大杉榮、伊藤野枝は東京に移っていたが鶴見の弟宅からの帰りに甥の橘宗一と共に甘粕らに「拘束」され九月十六日に虐殺された。

大杉榮は保養地である湘南に短、中期で五回は暮らし馴染んでいた。今回の「文学散歩」では鎌倉駅を軸に徒歩圏内の旧瀬戸小路《今は小町通り》、社会主義者同盟発足前夜のエピソードがある若宮大路の旧鎌倉警察署跡、長谷小路《今は由比ヶ浜大通り》六地藏近くの下宿屋跡を中心に案内。

また大杉たちの鎌倉移転に初期の社会主義時代からの同志村木源次郎が大きな役割を果たしている。鎌倉駅至近の寺にある長芝家《村木の叔父》の墓碑に村木の名と共に「労働運動志士」と刻まれているので案内をしたい。

既成の鎌倉文学散歩では大杉榮は触れられず、碑はなくピンポイントとはいかないかもしれないが大杉榮、伊藤野枝をめぐる初の文学散歩となる。ゆかりある葉山の日影茶屋も当時の面影を残しているがアクセスに時間がかかる。時間の余裕があれば芥川龍之介下宿跡、川端康成散策の小路にも行きたい。

なお鎌倉文学館は補強改築で四年間の休館(亀田博)

【案内人】亀田博 大会実行委員長

【予定コース(徒歩)】

鎌倉商工会議所 → 小町通り → 瀬戸橋《大杉榮、伊藤野枝旧居エリア》 → 若宮大路 → 鎌倉警察署跡地 → 本覚寺《村木源次郎 / 長芝家の墓》 → 若宮大路 → 下馬交差点 → 由比ヶ浜大通り《長谷小路 / 長芝家跡地》 → 坂の下《大杉榮、最初の鎌倉住まいエリア》 → 江ノ電「由比ヶ浜」駅近く《芥川龍之介下宿跡》 → 若宮大路 → 鎌倉駅

【所要時間】1時間30分から2時間の予定。

***但し、10月19日時点で申込上限人数に達したため、文学散歩の参加受付は終了。**

鎌倉商工会議所

鎌倉市御成町 17-29

JR 鎌倉駅西口から徒歩5分

